

一 花見公民館誕生

昭和二十四年

第二次世界大戦後の国づくり、人づくりの拠点として市町村の設置する社会教育の為の施設として、昭和二十四年（一九四九年）六月に公布となった「社会教育法」に基づき、その狙いは公民館を軸にした社会教育の普及、展開だった。

昭和二十九年四月に福間町、上西郷村、神興村による三町村合併で新福間町が誕生する翌三十年四月には「福間町公民館報」が発刊されている。

花見公民館は、その頃誕生の兆しが推測される。

当時は集会場はなく地区の有力者の自宅（区長宅）で会合が持たれていた。

第一に民主主義を我が物とし、平和主義を身に付いた習性とする迄に我々自身を訓練しよう。

第二に豊かな教養を身に付け、文化の香り高い人格を作る様に努力しよう。

第三に身に付いた教養と民主主義的な方法によって、郷土に産業を興し、郷土の政治を立直し、郷土の生活を豊かにしよう。

（寺中作雄著、一九四六年「公民館の建設」より）